



## 2016年度定期総会報告

3月13日、2016年度定期総会を開き前年度の活動の総括とこれからの活動について話し合いましたので概要を報告いたします。

### 1 2015年度活動報告

#### (1) 地区別・競技別アスリート数

	長崎	佐世保	諫早	五島	合計
男	86	38	6	10	140
女	31	17	0	0	48
合計	117	55	6	10	188



pixta.jp - 17963205

水泳	陸上	ボウリング	バドミントン	テニス	サッカー	馬術	合計
69	58	55	20	8	5	2	217

(注) 地区別アスリート数と競技別アスリート数の合計が異なるのは複数競技に参加しているアスリートがいるためである。

#### (2) 競技別コーチ数

水泳	陸上	ボウリング	バドミントン	テニス	サッカー	馬術	合計
26	24	9	6	2	3	2	72

#### (3) 収支報告

(円)

収入	2,496,269	支出	2,059,942	収支	436,327
----	-----------	----	-----------	----	---------

### 2 2016年度活動計画

(1) 組織の拡充 \* 未組織地域でのプログラム開始 \* 専門委員会の整備

(2) 財政基盤の確立 \* 会費納入の促進 \* 助成金の活用

(3) 広報活動 \* 機関紙の充実及び配布先の拡充 \* HPの充実

(4) 予算計画 (円)

収入	2,451,000	支出	2,701,000	収支	△250,000(注)
----	-----------	----	-----------	----	-------------

(注) NG(ナショナルゲーム積立金)を支出に計上したことによる。

### 3 その他

新役員名簿は「事務局便り」のページに記載

# ボウリング(長崎)、楽しんでいきます！

ボウリングの部(長崎)は、ラッキーボウルのご協力で火曜日に、昼の部は中高生が8名、夜の部は主に社会人が40名弱、ボランティアコーチの指導の下、練習に励んでいます。

ボウリングは、精神的な状態が如実に結果に表れるスポーツでもあり、いかにいつも平常心で投げられるか、といった難しい面もありますが、始めたころはガター続きで涙していたアスリートも、根気よく続けることで落ち着いて、スペアやストライクが出せるようになっていきます。



楽しく、でも真剣に練習！

ナショナルゲームに参加したり、2014年には「長崎がんばらんば大会」に多くのアスリートが出場し、全国レベルの中で好成績を残すなど、活躍の場も広がっています。

また、自分のスコアだけを気にするのではなく、競技前後に挨拶や握手をする、投球順序を守るといった基本的なルールや、いい投球にはアスリート同士でたたえ合うなど、一見個人競技のようでも、仲間意識も持てるようになるなど、見守るファミリーも成長を感じられるのが良いところです。



昼・夜合わせて、のべ9名のコーチが参加して下さっています

(昼夜ともに来て下さるコーチも)

が出たアスリートもいました。

コーチ達からは「いろんな仲間と交わったり、いつもと違う経験を少しずつすることで、また成長していったほしいと思って企画したとよ～」と、ありがたいお言葉もいただきました。

年齢を重ねても、天候にも左右されず続けられるスポーツです。興味のある方はぜひ一度、ためしに参加してみてください(\*^\_^\*)

(ボウリングファミリー 那須 順)

年に一度の地区大会はとても盛り上がりませんが、「ちょっと変わった大会も経験してみては？」とコーチのご提案&協賛で、先日は初めてのハンディキャップをつけた「親善大会」が開催されました。

昼の部は人数が少ないので個人戦でしたが、夜の部は二人一組のダブルス戦。レーン決めやペアの組み合わせもくじ引きにして、いつもとはちょっと違う雰囲気戸惑うかな？と思ったファミリーの心配をよそに、用意されたトロフィーやメダルの輝きが魅力的だったのでしょか(笑)、みんな楽しそうにプレーし、自己ベスト



親善大会でプレゼントされたトロフィーやメダル

# 元気よく大きな声で、楽しんでいきます

佐世保バドミントンで～す！



SO佐世保バドミントンがスタートして、早や10年の歳月が経ちました。

開始当初中高生だったアスリートもバドミントンの技術の向上とともに、立派な大人に成長し、仕事や学校に通いながら、日曜日のプログラムを楽しんでいます。

プログラムは、佐世保みなとインター近くの「サン・アビリティーズ佐世保」で月2回のペースで行っており、バドミントンのショット練習だけでなく、足腰強化を目指したフットワークの練習や集中力を高めることを目的とした、サービスの練習なども取り入れています。



時にはキツイ練習もありますが、9名のアスリート（男性7名・女性2名）はみんな仲が良く、メンバー全員が持ち前の明るさを発揮して、笑顔が絶えないプログラム活動となっています。アスリートの皆さんが一生懸命頑張っている姿を見ていると、コーチとしてもアスリートに負けないくらい頑張ろう！！と奮起し、頑張っているつもりですが、若い皆さんにはかないません・・・。

逆にいつも元気をもらっているような気がします。(笑) みんなありがとうね！！

これからも、アスリートの皆さんが楽しく、またこれまで以上にバドミントンが大好きになってくれるようなプログラム作りを目指して頑張っていきたいと思います。

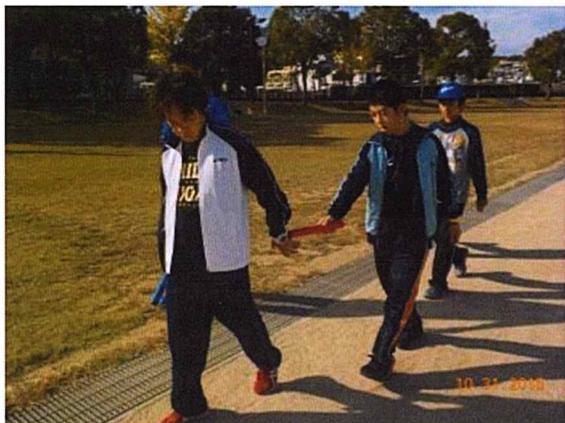
「継続は力なり！！」コーチとして皆さんの10年間を見てきて確信した言葉です。周囲の方々に感謝をしながら、これからも末永く楽しい活動ができますように！！



SO佐世保バドミントンコーチ 須加崎 敏幸

2015年4月から「五島地区でのSO活動を再開しよう!」と、活動主体を担ってきていただいたNPO法人若竹の会など地域の人達の協力を得て、陸上プログラムを月1回のペースで始めました。

2016年3月現在で、アスリートは小中学生が8人、社会人が3人とまだ少数ですが、



お父さんや兄弟といったファミリーも交えながら楽しく活動をしています。



設立時から目標とし、楽しみにしていたのが地区大会です。昨年は、4人が参加することができました。前日から長崎入りし、大型商業施設へ買い物に行ったり、美味しい中華料理を食べに行ったりと旅行としても楽しみました。その話を聞いて多くのアスリートが「いいなー」と。今年は、もっと大所帯で参加ができるのではないかと期待しています。

## 五島も陸上を頑張っていますよ!

活動再開から1年、多くの課題もあります。1つ目は、活動場所です。現在、五島市中央公園の芝生広場や陸上競技場を借りて練習をしています。雨天時は逃げ場もなく、月1回の練習も中止にせざるを得ない状況です。月1回は確実に集まれるようにしたいと



思っているのですが…雨天時の練習場所の確保が急務の課題となっています。2つ目は、コーチの確保です。現在は、若竹の会の村田さんと鶴南特別支援学校五島分校の職員計3~4人でコーチングをしているのですが、特に自分たち教員はいつまでも同じ学校に居るわけではなく、自分たちが五島を離れた後も活動が継続できる様に地元のコーチの必要性を感じています。幸い、アスリートのファミリー

の中には、走るのが好きなお父さんもいますので、ファミリーの人にコーチになってもらうこと、また地域の陸上愛好家の協力を得るよう広報活動に力を入れる必要を感じています。その他、新規アスリートの開拓など課題は多くありますが、まずは、月1回の練習を2回にしたり、雨天時も練習ができる場所を確保したりと、今の活動を充実していけたらと考えています。まだ動き始めたばかりの五島地区の活動ですが、アスリートやファミリーからは期待の声も多く、さらなる拡大が見込まれるプログラムです。これからも温かく見守り、応援していただければ嬉しいです。 (五島 陸上コーチ 佐藤公彦)

# SONのなかま SON福岡

## ヤングアスリートプログラム IN 福岡

昨年11月23日(月 祝日)福岡市南区にある香蘭女子短期大学体育館にて「ヤングアスリート体験プログラム」を開催しました。8名のキッズアスリートが参加し、ファミリー・短大講師・短大生と共に約1時間のプログラムです。



挨拶の後、親子ふれあい遊び・ボール遊び・マットを中心としたサーキット・ボーリングなど盛りだくさんでした。

キッズアスリート達が挑戦する姿を皆で励ましたり、成功したときには大きな拍手がおくられ、アスリートも保護者の皆さんも充実した表情で様々な種目に取り組んでいました。

今後も定期的に地域や教育現場との連携を大切にしながら開催する予定です。

見学もボランティア参加も大歓迎です。ご連絡ください！

## SO豆知識 SON用語集より

**認定コーチ** スペシャルオリンピックス日本が認定したコーチ。スペシャルオリンピックス日本地区組織の登録会員で、コーチクリニックを受講し、当該競技種目(受講したスポーツ講義・実技)で10時間(5回)以上のスポーツトレーニングプログラムでの実働経験が有り、地区組織より申請のあった人をスペシャルオリンピックス日本が認定しています。

**ディビジョニング** スペシャルオリンピックスの競技会で、可能な限り同程度の競技能力のアスリートが競技できるように、性別、年齢、競技能力などによって行うグループ分け(ディビジョン)です。

**オネスト・エフォート** ディビジョニングをより公正なものとするために設けられているルールです。※決勝の記録または得点が予選よりも15%以上よかった場合、失格になることがあります。

## 野口コーチが表彰されました！

知的障害者に対する水泳の指導とコーチ育成に貢献しているとして平成27年度長崎県障害者スポーツ協会より「功労賞」の表彰を受けました。

平成26年に開催された「長崎がんばらんば大会」では長崎県代表として水泳アスリートが11名選ばれましたが、このうち8名がスペシャルオリンピックス日本・長崎の選手でした。

野口コーチは日本水泳連盟指導員、日本連盟水泳教師、更には水上安全指導員資格を持ち、SOアスリートの指導に力を発揮されています。



「みんな水泳を楽しみましょう！」をモットーに泳ぐことの楽しさを教えてくれています。そのために、欠席者が少ないのは嬉しい限りです。



## 佐世保・水泳の内野コーチも頑張っています！

内野勇次コーチは海上自衛隊に勤務の頃から、マスターズの大会などに出場していました。2004年の市営温水プールでのプログラム開始から、SOアスリート達のトレーニングや大会参加に携わっていますが、一方では水泳協会の指導員として同プールで、高齢者向けの水泳指導も行っています。



大好きな水泳のほか、俳句やペーパークラフトも熱心で、アスリート達に写真楯や紙の楽器をプレゼントしています。

「継続は力なり」がモットーで、「練習は試合のように！試合は練習のように！」といつも言っています。これは、楽しみながらも真剣に練習して、試合にはリラックスして、緊張しすぎずに力が発揮できるようにということです。

他の三人のコーチとともに、アスリートの皆さんと楽しくトレーニングができていますが、新たなコーチの確保が大切だと考えています。





社会福祉法人  
福陽会  
小浦の里

# アスリートの職場紹介

社会福祉法人 福陽会 小浦の里は、長崎市小江町にあり、昭和 62 年に設立しました。現在、日中の事業所として通所して仕事をする就労継続支援 B 型（小浦の里、小浦の里第 2 事業所）と就労を目指して職業訓練等を行う就労移行支援（小浦の里第 2 事業所）のサービスを行っています。また、夜間や休日の支援として共同生活援助（グループホーム小浦の里「ひまわり」）、障害者の方の相談の窓口となる相談支援（相談支援事業所 小浦の里）も行っていきます。

『明るく、豊かに、たくましく』をモットーに、利用者さんの自己選択、自己決定を大切にしながら、一人ひとりの利用者さんに応じた支援を行っています。

小浦の里の通所されているアスリートの方々は、それぞれ日中の活動でいろいろな仕事を行っています。就労継続支 B 型小浦の里及び小浦の里第 2 事業所では、7 つの作業班に分かれて仕事を行っています。季節の野菜の栽培や販売、家庭や会社等の庭園の除草・樹木整備作業、施設内環境整備等を行っている『園芸班』、生コンクリートを型枠に入れ、乾いたらそれを外す作業を行いながら、コンクリートの 2 次製品の U 字溝、溜ます、縁石、束石、スライドブロック、パーキングブロック等を製造・販売している『コンクリート班』、箱折りやお菓子袋のシール貼り、コーヒパックの袋詰め等の作業、販売用の小物を製品・販売している『室内作業の 3 班』、桧を使ってフラワーボックス、便利台、ペン立てなどの製作・販売している『木工班』、ヘアゴム、ビーズアクセサリー、シュシュ等の製品を制作・販売、委託作業でヘアピンなどの袋詰め、ダイレクトメールの封筒詰め等の作業等を行っている『クラフト班』、そして、就労のために企業実習や職業訓練などを行っている『移行班』です。

小浦の里のアスリート達は、本人たちの希望に基づきそれぞれの能力や技能等にあった班に所属し、仕事を行いながら、それぞれの自立のために毎日頑張っています。また、仕事以外でも行事やクラブ活動、園友会活動（利用者の自治活動）等にも積極的に参加しています。



【小浦の里】



【小浦の里 第 2 事業所】



【グループホーム 小浦の里「ひまわり」】



園芸班



コンクリート班



木工班



室内作業班



クラフト班



<クラブ活動の様子>



【グラウンドゴルフ クラブ】



【絵画・書道 クラブ】

## 務局便り

### 1 2016年度役員紹介（敬称略、アイウエオ順）

理事長 植松 俊徳（長崎商工会議所 相談役）

副理事長 村木 昭一郎（野母商船(株) 社長）

横田 貞三（長崎国際ゴルフ倶楽部 理事長）

森 邦芳（住宅供給公社 元理事長）

#### 理事

井手 博文(株十八銀行 OB) 池田 好隆 (SON・長崎 事務局次長)

犬塚 博二(NPO 法人 ポニーランド長崎 理事長)

金子 和子(SON・長崎元会長) 北御門 剛(SON・長崎 会計責任者)

楠田 穰(楠田歯科診療所 理事長) 桑野 嘉典(長崎心身障害者団体連合会 会長)

高谷 信(長崎県体育協会 顧問) 竹内 一(社会福祉法人ゆうわ会 理事長)

夏井 盛人(株十八銀行 人事部長) 福田 英彦(福田内科胃腸科 院長)

藤 泉(長崎自動車 常勤監査役) 松尾 忠信(SON・長崎 事務局長)

宮崎 隆夫(SON・長崎 事務局次長) 山田 笙子(株ヤマックス 会長)

#### 監事

中島 健太郎(J A I F A 会長) 松永 安市(長崎商工会議所 専務理事)

### 2 自販機設置場所を探しています。

自販機設置に協力いただける企業、個人を紹介して頂けませんか？

設置して頂いた場合、販売飲料水の原価を差し引いた残りの半分をSON長崎へ寄付していただき、私達の活動を財政面から支援していただくこととなります。

自販機には企業の名前とスペシャルオリンピックスの活動に協力している旨の表示をいたします。詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

### 3 県央（大村周辺）、島原半島周辺でスポーツを希望するアスリートはいませんか？

2016年度の総会で新たに大村、島原周辺でのプログラムの立ち上げることにいたしました。何かスポーツを希望するアスリートがいればご連絡ください。

スポーツの種類は問いません。

お問合せは090-1342-3339（松尾）まで。

### 4 「かっちえて」6号の編集担当プログラムは次の通りでした。

① 佐世保陸上 ② 木鉢水泳 ③ 長崎市民プール

機関紙について皆さんの感想などあればお聞かせください。

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・長崎

理事長 植松 俊徳

〒850-0027 長崎市桶屋町56 電話/ファックス (095) 823-3575

メール [son\\_nagasaki@son.or.jp](mailto:son_nagasaki@son.or.jp) ホームページ <http://www.son-nagasaki.jp/>